

令和5年度 事業報告

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

たつの市・太子町の人口は、国勢調査によると平成17年以降減少が続き、令和2年には総人口に占める65歳以上人口は29.7%となり、人口減少と少子高齢化が加速しています。特に生産年齢(15歳～64歳)の人口が減少しており、人生100年時代と言われる中、「生涯現役社会」の実現に向け、高齢者の活躍がますます重要となっています。

このような中で、当シルバー人材センターは基本理念である「自主・自立・共働・共助」の下、安全就業に努めながら、親切・丁寧・誠実なサービスを提供することによって、活力ある地域づくりに取り組んでまいりました。

令和5年度においては、長引くコロナ禍や高齢者雇用安定法改正による定年延長等の影響で、当センターの会員数は退会者数95人に対し新規入会者数65人で前年度比で30人減少して712人となり、9年連続の減少となりました。会員の平均年齢も73.9歳と、前年度73.3歳と比較して0.6歳高くなりました。

事業実績につきましては、受注件数は3,880件で前年度比2.9%減、就業人員は実人員675人で前年度比2.6%減、就業延人員は79,702人で、前年度比3.4%の減少となりました。

受託契約額につきましては、コロナの影響が残りつつも、経済活動の再開や事務経費の見直し等により、総額452,583千円と前年度比0.1%減となりました。

また、派遣事業の契約件数は7件と前年度比46.2%減で、契約金額は5,555千円と前年度比32.8%減になっています。

一方、インボイス制度が令和5年10月から施行され、シルバー人材センターに対してもその対応が必要となりました。引き続き、兵庫県や近畿、全国のシルバー人材センター団体と連携し、安定運営のための要望活動を継続して持続可能な組織づくりに努めます。

令和5年度では、シルバー世代のデジタル活用に向けたスマートフォン教室の開催を始めるなど、社会情勢の変化に即した取り組みを行いました。これからも、健康で働く意欲

を持つ高齢者のニーズに応じた就業機会を確保し、生きがいの充実、社会参加の推進を図ってまいります。

次に、令和5年度に実施いたしました各項目について報告します。

1 安全就業の徹底

会員の安全就業や事故ゼロを目指して、新規就業場所については、現場状況の確認及び事故防止対策等を就業予定会員と情報を共有し事故ゼロを目指しました。

令和5年度は、賠償責任事故1件、傷害事故4件の合計5件事故が発生し、前年度より10件の減少となりました。

事故件数が減少したとはいえ、就業している中で傷害事故・賠償事故はあってはならないことであり、飛び石事故等の注意喚起チラシの配付や安全指導を兼ねた安全パトロールを続け、さらなる事故防止・抑止の安全就業の啓発対策、会員の安全意識の向上に努めてまいります。

2 適正就業及び就業機会の推進

法令を順守した適正就業を目指し、会員及び発注者等へ機会あるごとに適正就業の趣旨を説明して、協力と理解を求めてきました。また、多様化する発注者のニーズに対応するため、会員の確保と派遣事業を推進するなど、今後においても適正就業に取り組みます。

3 講習会、講演会の実施

会員の安全への意識啓発、技術習得や知識向上のため、下記の講習会を開催しました。

- (1) 刈払機安全就業講習会 (参加人数25人)
- (2) 交通安全講習会 (24名)
- (3) 剪定講習会 (20名)
- (4) チェーンソー安全講習会 (18名)
- (5) スマートフォン講習会 (16名)

4 普及啓発活動

たつの市及び太子町広報紙への掲載とチラシの全戸配布を行い、地域住民の方にシルバー人材センターの活動状況をお知らせしました。「シルバーだより」やホームページを通じて、会員や仕事を頼みたい方々への事業説明や活動状況についても情報提供をいたしました。

また、入会説明会を月2回定期的に開催したほか、ハローワークのシニア再就職支援講座で勧誘を行いました。(各参加者 139名、101名)

加えて、啓発活動では、会員の積極的な行事参加促進や会員拡大への取り組みといたしまして、新たに会員を対象としたポイント制度を創設し、令和6年度から実施する準備をいたしました。

5 組織の充実

理事会、安全・適正就業委員会、互助部会会議、職群班会議を開催し、円滑な事業運営に努めました。

また、本部、支部、事業所それぞれが連携、情報交換を図り、効率的、効果的な事業運営を推進するため毎月事務連絡会議を開催しました。

6 その他の事業

(1) 会員相互の親睦と連帯意識の高揚を図るため、広域でのグラウンドゴルフ大会(参加者88名)等を実施し相互の交流に努めました。また、支部・事業所等においても研修旅行を企画し、交流の輪を広げました。

(2) 公共施設等の清掃作業や市民まつりへのボランティア活動等を行い、多数の会員の参加を得ることができました。

(3) 引き続き、たつの市福祉会館の指定管理及び独自事業の「貸衣裳事業」に取り組みました。